

「あといえー丁」

9 月 Web による作品発表

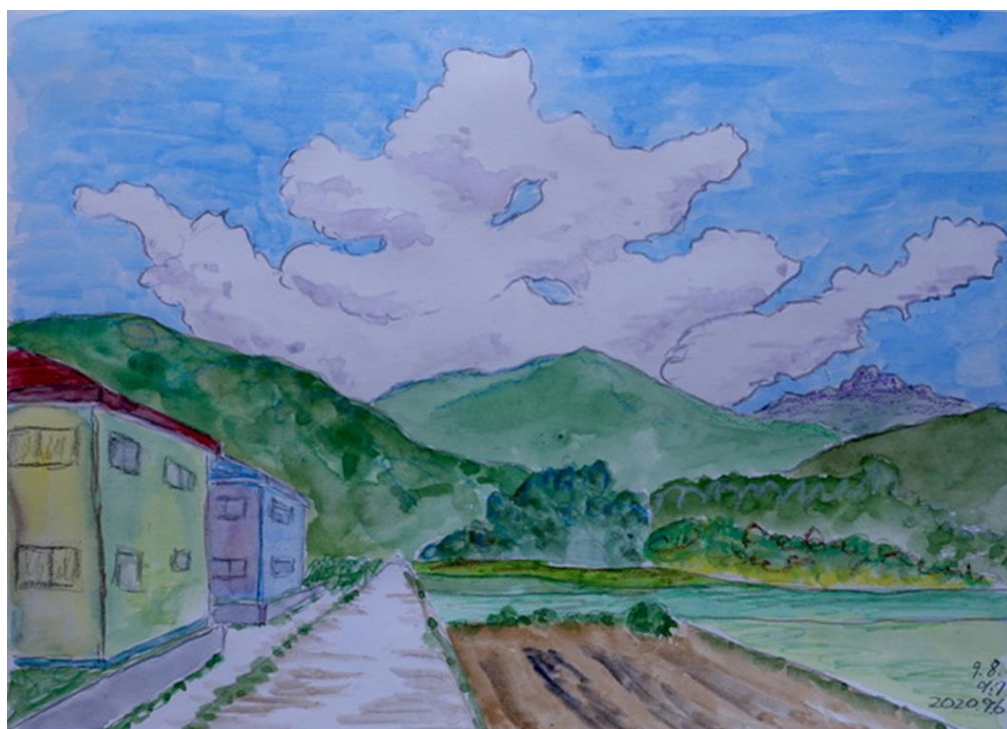
2020 年 9 月 30 日

作者コメント:

友人家族との撮影を兼ねた甲府の帰り道、富士山と前景の雲の形や色に魅了されて撮った写真を水彩画にしてみました。

**喜田コメント:****黒田重雄 F4(水彩)「峠の夕景」**

水墨画か日本画を彷彿とさせる渋くて優れた作品ですね。色彩バランスも構図バランスも良いと思います。手前の画面を斜めに切る近景の黒い斜面の山の陰影がこの作品の成功に一役買いましたね。見事な作品です。

**竹前義博 F4(水彩)「夏の終わりの入道雲」****作者コメント:**

今年は長野でも暑い日が続き、九月に入ってから、大きな入道雲が空一杯に広がっています。手前に耕した畑があります。この地域では、夏の終わりに大根の種を撒き、晩秋に収穫し、漬物にします。時期になると、近所から新鮮な立派な大根をもらいます。今から楽しみです。

喜田コメント:

気持ちの良い作品です。家の前からずーっと山へ向かって延びる道路が走っています。この道を歩いてゆく

と何があるのでしょうか？ 手前に耕した畑がありますね。お百姓さんはこれからここに何を植えるのでしょうか。観るものに想像させる様々な物語が一杯つまった絵です。

主題の「晩夏の入道雲」が見事に描かれていて、これだけで満足です。近くの山の色、遠くの山の色、努力して工夫していますが、欲を言えば、もっと思いきって変化をつけたいです。また、左手の家は必要ですが、ちょっと説明的です。



月川いさ江 はがき(ちぎり絵)「お月見」

作者コメント:

お花も時期があるように、ちぎり絵もいつも季節を考えて制作するようにしています。

今回はお月見の満月の夜空にうっすらと雲を置いて、その雲の表現に挑戦してみました。人に教わることなく、自分で工夫をして表現を考えます。また、月に掛かったススキの穂先を「糸」を使って実在感を出してみました。

喜田コメント:

秋の夜空に満月、秋の七草、それから三宝に乗ったお団子、これが「お月見」のオールキャストですね。この作品は満月の夜空に薄い雲を配したところが、今回の月川さんの Originality だと思います。

また、野原の上に三宝を置いた構図も面白くてユニークです。雲はうっすらとたなびくよう表現して、見方によっては夏の「天の川・銀河」のように見えて、愛おしささえ感じます。

独自の工夫によってたなびく雲と月に映ったススキを見事に表現が出来たと思います

作者コメント:

画用紙の真ん中に楕円形を描き、その中に風景を描いてみるつもりでした。描くにつれてだんだん上に行くほど横に広がってしまいました。変な構図になってしまいました。

喜田コメント:

構図の面白さとともに色彩が素晴らしいと思います。左右の木の間に広がる晩夏の湘南の海の物語ですね。船があり、ヨットがあり、サーファーがいる。喧騒に満ちた盛夏が去り、晩夏の寂しさが色彩から感じられます。海も単純な青ではなくて、色々な色が含まれています。波の白も作品に効果を与えました。近景を支配するオレンジ色が空にも一筋、配されたことが作者のセンスのよさを示しています。柔らかく、暖かくそれでいて晩夏の寂しい海がよく描けています。左右の木の外側も白で残すのでなくさらっと描いた方が良かったと思います。



遠矢慶子 F4(水彩)「葉山しおさい公園から海を見る」



岡田理子 F6(水彩)「娘とマメ」

作者コメント:

マメは最近、飼い始めた「インコ」です。初めこの絵は「マメ」を中心にするはずでしたが、娘の肩に止まった「マメ」は主題にできずに、つい、娘が中心になってしまいました。
私にとって、「マメ」も「インコ」もどちらもかわいいもの。

喜田コメント:

娘さんの肩に止まったインコの「マメ」、ユニークな作品です。
とてもいい作品です。
娘さんの表情とインコのマメの緑色のコンビネーションがポイントです。
岡田さんは描きたいものが明確で、いつも感心します。
雑念のないストレートな作品で、素晴らしい個性を感じます。
これからものびのびと描いてください。

作者コメント:

スペイン旅行の思い出に買い求めた陶器の淡い色の「ジアドロ」です。
背景をうっすらとしたものとインパクトのある背景と2枚描いてみましたが、「ジアドロ」には軽い背景のほうが良いようでこちらを選びました。

喜田コメント:

スペインから遠く日本に来た「ジアドロ」の親娘人形は、今、何を想っているのでしょうか？遠い日本で武智さんに可愛がってもらってきっと幸せだと思います。
今回の作品、丁寧にやさしく描いてもらってきっと喜んでいることでしょう。
さて、この作品は、「ジアドロ」のように淡くて、優しくてよいのですが、いつもの武智さんのエネルギーを感じません。全体に強弱が少ないので、画面が弱くなりましたね。主題の「ジアドロ」の陶器人形にもう少し強い色彩と陰影を与えたいかがでしょうか。
背景は人形を生かすために、これでよいと思います。武智さんはもっともっと強い絵を描ける才能を持っています。



武智康子 F4(水彩)「ジアドロ」



筒井隆一 F4(水彩)「食べたいな」

描く時間が少なかったのでしょうか、いつもの筒井さんの追及が足りません。しかし、配置したいろいろなモチーフが創る構図の良さと色彩のバランスの良さが、追及不足をカバーしています。欲を言えば、主題の「スイカ」をもう少しどっしりと描いてほしいと思います。全体的には、とても、面白くて気持ちこもった良い作品です。

作者コメント:

家内と二人で畑をやっていますが、今年は小玉西瓜が豊作で、甘くて水気たっぷりの西瓜が、たくさん採れました。

お面のお姉さまを壁にかけ、馬のおもちゃをスイカに並べて描きました。お面のお姉さまとおもちゃの馬が、おいしそうなスイカを狙っています。

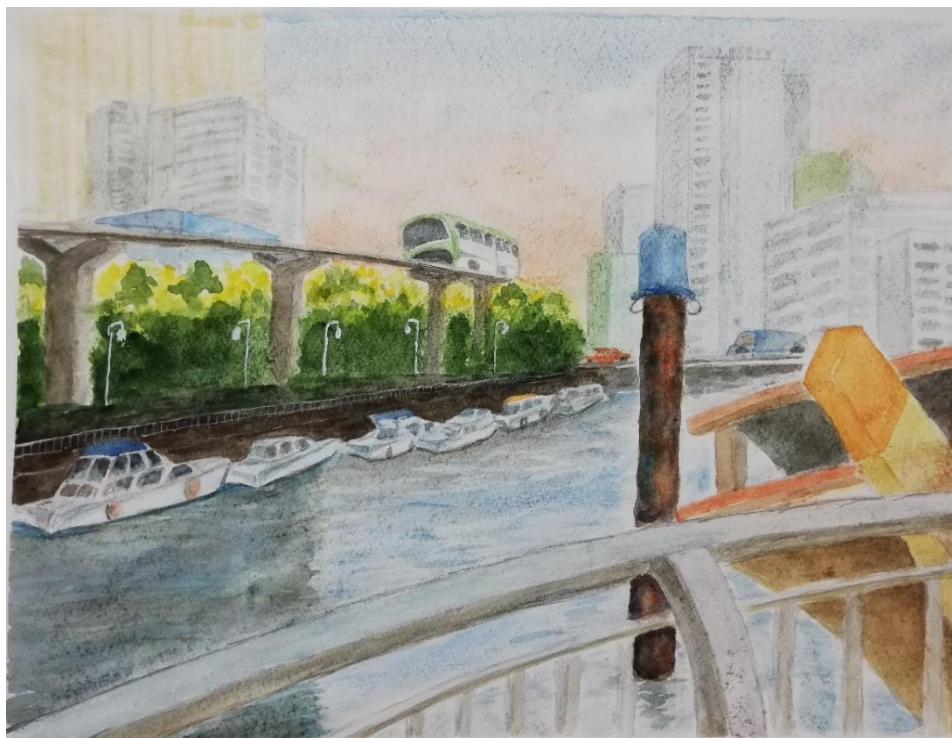
喜田コメント:

スイカを狙う「壁掛けお面」と「おもちゃの馬」、楽しい着想の作品について笑みがこぼれます。

作者コメント:

この作品は昨年、皆さんとスケッチに行った「田町運河」の作品のリメイク版です。

気に入った構図なので、「夕暮れ時」の着色をしたかったのです。



喜田コメント:

若林哲史 F6「夕暮れ泥む田町運河」

田町運河でスケッチした風景を作品にしましたね。パット見て、この作品は、近景・中景・遠景にメリハリがあり、キッチリと描かれていて素晴らしいと思います。描きたかった「夕空の表情」もとても良いと思います。夕空の色が、川面に少しでも映っていると、もっと作品に表情が出てきます。画面中に多用されている斜めの線が作品に動きを与え、太い垂直の杭が作品に安定感を与えました。杭の先端の「バケツ？」は説明的すぎます。



井上清彦 F6 (水彩) 「かん芸館とサクラの木」

作者コメント:

テーマを探して歩き、最寄りの「かん芸館と桜の木」を取り上げました。山や海のような遠景、近景の広がりはなく、身近な風景です。ユニークな建物と桜の木が、うまく表現できたかどうか。人物を入れてみました。

喜田コメント:

色彩豊かで童話に出てくるような好ましい風景作品ですね。まるで「グランマ・モーゼス」の作品を観ているようです。建物のどこかからピアノが聴こえ、合唱のハーモニーが聴こえ、子供の遊ぶ声が聴こえてきそうです。左サイドに人物が一人入っていますが、例えば、赤い洋服を着た少女が階段をかけて降りている姿を一つ入れるだけで作品に動きが出て、童話感と宇宙感が出て、さらに面白い作品になるでしょう。右の木は「サクラの木」には見えませんが、作品全体を締める一定の効果を果たしています。

作者コメント

この作品は我が家の2階の「アトリエ」から見たスケッチです。油絵のためのエスキース(下絵)の参考のためにハガキに色鉛筆で描きました。このはがきサイズのスケッチが、やがて大きな油絵になります。



喜田祐三 はがき(色鉛筆) 「アトリエの窓から」